

# アカウンタビリティ(説明責任)・情報発信・地域連携

社会資本整備を進めるにあたって、事業や政策を推進する上でのアカウンタビリティの向上を目指し、情報発信による透明性の確保、地域連携の強化を進めています。

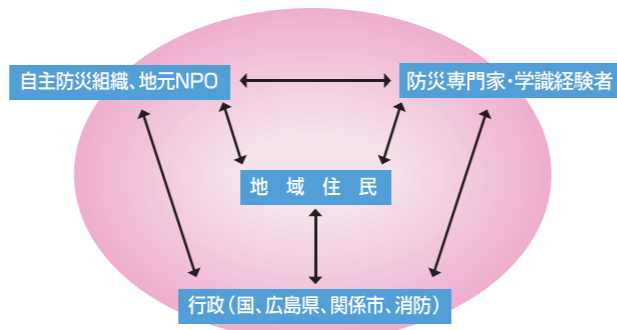
## 水害に強い地域づくりの推進

災害の際、被害を最小限に抑えるには、自助(自分の身を自分の努力によって守る)・「共助(身近な人たちがお互いに助け合う)・公助(国や県などの行政機関による救助・援助)それぞれが役割を果たしていくことが大切です。公助のみの災害対策には限界があり、自助・共助が極めて重要になります。

太田川河川事務所では、流域住民等の自主防災意識(自助・共助)の向上を図り、避難行動の推進などの等官民一体となって「犠牲者ゼロ」に向けた減災への取組を推進しています。そのため、地域の防災訓練などを通じて、国や地方公共団体から住民にむけて発表される防災情報(水防警報や洪水予報、避難勧告等)の説明やハザードマップの活用方法等について、出前講座を行い防災知識の周知を行っています。



安佐南区防災訓練での防災情報の説明



自助・共助・公助が一体となった  
災害対策の推進連携イメージ

## 出前講座

「出前講座」とは、住民の皆さんの要望に応じ、各種会議、現地見学会、町内会、学校の授業等を中国地方整備局職員が訪問し、河川、砂防、道路、ダム、港湾等についての取り組みや職員の専門知識を活かしたお話をお届けするものです。国土交通省が実施している事業や施策についてもっと知っていただくとともに、住民の皆さんの意見や声をお聞きすることを目的としています。ぜひご利用ください。



出前講座(水質調査)



出前講座(砂防)

## 地域社会と協働した効率的な河川管理の推進

平成21年度(2009年)は、公募による樹木伐採や刈草無料提供を実施しました。



河道内樹木公募伐採



刈草無料提供

### ■公募型樹木伐採

洪水の流下阻害や不法投棄を誘発する恐れのある樹木群など、河川の管理上支障となる河道内樹木の伐採にあたり、希望者を募り伐採を実施しました。

伐木を蒔やキノコ栽培などに活用するニーズがあり、地域社会と協働した効率的な河川管理が実現できました。

### ■応募型刈草無料提供

堤防除草で発生する刈草について、資源の有効活用から刈草持ち帰り希望者を募り、敷草や堆肥などに活用する希望者に配布しました。

## ゴミマップ

不法投棄対策の効率的な取り組みの一つである監視強化に役立てるため、ゴミマップを作成し公表を行っています。



## 河川愛護モニター

河川愛護モニターとは、河川整備および河川利用・河川環境に関する地域の要望を十分把握するなど地域との連携を図る目的で、河川愛護に関心を持っている方に地元要望や河川の異常等の情報提供をお願いするものです。現在太田川で5名、小瀬川で2名の方にモニターをお願いしています。



河川愛護モニター任命式

## クリーン太田川・小瀬川

国土交通省では昭和49年度から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川を常に美しく保ち、正しく安全に利用する行事を推進してきました。昭和63年度からは月間行事の一環として、河川の一斉清掃「クリーン太田川」、「クリーン小瀬川」を実施し、流域の市町の協力のもと毎年多くの方の参加をいただいています。



クリーン太田川2009



クリーン小瀬川2009